

## 第1回 仲間づくり交流部会 会議報告

日 時：平成26年10月23日（木）

午後7時～8時 202会議室

### ○次第

- 1 自己紹介
- 2 部会の役割と会議の進め方について
- 3 意見交換  
(配布資料)

次第、名簿、統合推進委員会だより（1、2号）、3校の年間行事計画表

### ○事務局からの説明

・部会の主な役割については、子ども達や保護者の不安な気持ちをひとつでも解消でき、楽しい気持ちで学校に行かれるように、学校行事などの交流できる機会を調整した上で、各校の年間行事計画に反映し、実行できるようにしていきたい。

特別支援学級や放課後の居場所づくりなども交流が必要と考えている。

### ○部会で確認した内容

- ・この部会でどこまでやればいいのかはっきりさせたい。  
→（事務局）部会の検討内容は、統合推進委員会に持ち上げ、提案する。  
決定すべき事項は、統合推進委員会や教育委員会として決めていく。
- ・仲間づくりのための交流は、学校行事のことなので各学校で交流できそうな行事などを検討してから部会に持ち寄り、部会の中で検討する手順とする。
- ・学校が全くタッチしない区の行事などは部会では検討できないので線引きしたい。

### ○部会で大切にしたいこと

- ・どのような仲間づくり交流会をめざすのかについて、イメージや意識の共有ができるように率直な意見交換を行い、部会長にまとめていただいた。
- ・H27年度を自校の最後として、しっかりとしめくくれるように。
- ・H28年度4月。安心して統合ができるように。不安なくできるように。期待感が持てるものに。
- ・大きな行事にこだわらず、敷居の低い交流を何度となく。大きなことだけでなく、足繁く通える仲に。
- ・特別支援学級の子どものたちの環境変化も十分考慮して。
- ・保護者の立場からの意見も取り入れて。

『子どもをいつも「真ん中」に置いて』

### ○次回

次回は、「これならできそう」、「これは早く決めないと」、「今までなかったけど、こんなことができるのでは」という行事を各校で検討し、ピックアップして来る。

来年度の年間行事計画の締めがあるので、いつまでに何をといった優先順位を考えながら進めたい。 （次回の開催日時 11月13日（木）19時より、201会議室）

## 第1回 通学・安全部会 会議報告

日 時：平成26年10月23日（木）  
午後7時～午後8時30分 605会議室

### ○次第

- 1 自己紹介
- 2 部会の役割と会議の進め方について
- 3 意見交換  
(配布資料)

次第、名簿、統合推進委員会日より1、2、通学路の図面（3校分）、通学路対策箇所図、市内通学路の対策箇所一覧表、平成25年度通学路安全対策実施状況、岡谷区23町内及び24町内から田中小学校までのルートと注意箇所

### ○話し合われた内容

部会で行う作業の手順として、

- ・通学路案を選定→現地調査→危険箇所の洗い出し→対応を考える→通学バスの必要性について検討といった手順で行きたい。
- ・通学路案の選定については、現状の通学区で線の切れている所（現岡谷小の通学路と神明、田中小の通学路の間）を埋めていく。

第1回では、上記手順の「通学路案の選定」にあたって、岡谷小校区、田中小校区、神明小校区における地域での見守りの状況や、現状について情報交換をした。

### ○出された主な意見等

- ・子どもの安全を確保するにはハードだけではなく、見守り隊のようなソフト面での活動がとても大事。
- ・岡谷小校区はあかしあパトロール隊というボランティアによる見守りが盛んに行われている。一方でボランティアはいるが、見守りの頻度が少なかったり、見守りの組織ができていない地域もある。人材不足などにより組織作りが難しいという地域もある。
- ・事務局で示された通学路の地図だと、岡谷小の既存の通学路がそのまま残されている。  
既存の通学路はあくまで、岡谷小に向かうための道なので、それとは逆で岡谷小校区から2校へ向かう通路を考えるべきでは。
- ・神明小PTAで毎年調査し、要望している箇所が反映されていないので配慮を。

### ○次回

事務局として通学路案のたたき台を用意するが、それと同時に部会員にも自分の詳しいエリアを見ていただき、通学路の案を提示していただく。それをベースに通学路案を選定していく。

開催日時 11月6日（木）19時～、605会議室

## 第2回 通学・安全部会 会議報告

日 時：平成26年11月6日（木）

午後7時～午後8時30分 605会議室

### ○次第

#### 1 通学路の選定について

（配布資料）次第、名簿（完成版）、議事録（第1回）、関係3校通学路指定図（修正版）、通学路検討（事務局提出資料（4））

### ○話し合われた内容

事務局の通学路案（通学路検討資料）について、説明し、通学路案に対する意見をいただくとともに、各部会員が個々に調査した通学路案についても意見をいただき、最善の通学路はどのルートか検討をした。

### ○事務局案に対して出された主な意見等

#### 田中小エリア

- ・丸山橋を渡った後のコンビニから小尾口区公民館を抜けるルートは車止めはあっても、実際にスピードを出して通る車が多いので、危険。この箇所をクリアできれば、その先のルートは問題ない。（警察、地権者と相談したり、ソフトの対策についても検討してみる）
- ・スカラ座前のルートは、開渠の川があるのと、スカラ座前を通ることに不安を感じる。
- ・⑧の左の177を抜けるルートよりも、山一林組事務所→天王森のルートの方が安全。
- ・イルフプラザの店やゲームセンター前を歩かせたくない。
- ・上浜の一方通行との交差点、高架下交差点は見守りが必要。
- ・駅方面から来た車が丸山橋の交差点を右折する時が危ない。
- ・南北の自由通路を通すのは避けてほしい。

#### 神明小エリア

- ・間下の十五社を抜けるルートは下りるところが危ない、薄暗い。現地で検証が必要。
- ・間下の十五社の交差点より上の県道を横断するには、歩道橋、押しボタン式の信号機、減速を促す標識など対策を講じないと危険。
- ・今井の十五社前を渡るところも危ない。
- ・間下区民センターまで出てくる道が狭い。
- ・間下区民センターより南側の横断歩道は事故も起きているし、見過ごされやすいので、避けたほうが良い。
- ・今井方面から丸山橋線を来た車が間下区民センター前で右折する場合時間規制があるが、守られていないので、徹底が必要。

○次回 今日議論した場所も踏まえて、通学路案の現地調査を田中小エリア、神明小エリアの2班に別れて行う。11月22日（土）9時～ カノラホール前集合。

## 第1回 学校生活・児童ケア部会 会議報告

日 時：平成26年10月23日（木）  
午後7時～午後8時20分 601会議室

### ○次第

- 1 自己紹介
- 2 部会の役割と会議の進め方について
- 3 意見交換

（配布資料）次第、名簿、統合推進委員会だより（1～2号）、年間行事計画表（3校）、体操着や入学準備品、学校のきまり、徴収金の資料

### ○話し合われた内容と出された意見等

- ・まずは3校の違いを把握し、意見を出し合う。扱う内容が幅広いので、月1～2回の頻度になるかもしれない。
- ・大きく区分すると「もの」「人」「行事」「費用」「決まり」になる。
- ・次回以降、わかりやすい比較表、項目ごとのスケジュールを示して話し合いを進めたい。
- ・体操服などは順次、買い替えのタイミングで揃っていく、それまでは混在の方向が良いだろう。
- ・現小3以下は少なくとも二年間、統合先の学校へ通える一方で、現小4は一年間だけ。この差は大きく、別で考えフォローすべき。「何年も通うなら、買い換える」「一年ならもったいない」になるだろう。修学旅行も新6年だけは、3校合同で企画するという案も。
- ・神明小は学年ごとに分かれれば、少人数。「目立つより同じもの」という意識は働く。
- ・支度を揃えることより、子どもの心をまとめていくことが大事。見失わないように。
- ・田中小や神明小にとっては、「自分たちの学校に新しい友だちが増える」という意識で、「魅力ある新たな学校づくり」と認識にズレが生じていないだろうか。
- ・校名に関しては敏感になっている。特に地域の方には、説明や理解を求める機会が必要。
- ・「学校生活全般」「子どもの心のケア」という所掌内容が、曖昧。委員会と部会の区分、本部会の守備範囲、子どもも巻き込んで考えさせたいことなど、整理した方が良い。

○次回 11月中旬予定、追って連絡。

## 第1回 式典部会 会議報告

日時：平成26年10月23日（木）  
午後7時～午後8時30分 201会議室

### ○次第

1. 自己紹介
2. 部会の役割と会議の進め方について
3. 意見交換

（配布資料）次第、名簿、統合推進委員会だより（1～2号）

### ○話し合われた内容

- ・式典の日程、会場、参加者、内容、予算等について検討部分である。
- ・式典のイメージを作るための情報収集を各自行う。
- ・岡谷小学校の閉校式は岡谷小学校で実施すると統合推進委員会の席上で聞いているので統合に関する式典部会である。以上について確認。

### ○出された意見等

- ・式典は子ども中心に考えたいが、歴史ある学校の統合なのでいろいろな立場の方にどんな形で参加してもらうのか検討が必要。
- ・式典に学校OBや地域の方たちにも参加してもらうことにより、統合に理解を得られるし、統合後の学校運営に協力してもらえる。
- ・富士見町中学校は始業式と同時に開校式をやり、それとは別に式典を行った。
- ・この部会では式典について考えていく。開校式についてはそれぞれの学校で行ってもらう方向で。
- ・学校で開校式を行うなら式典を行う必要があるのか。
- ・開校式だけで良いと言うことになれば、式典部会は次回で解散となってしまうのか。
- ・式典を新しい学校で子どもたちが仲良くやっているところを披露する場と考えるならば、開校以降に検討するのが現実的。
- ・4月は先生たちも大変。また、平成28年度の4月は御柱もあり4月の日程も取りにくいので、まず開校式を行って、統合後一周年を迎えた式典を行えばよいと思う。
- ・式典は学校ごとの開催なのか、それとも合同での開催なのか。開催の方法も複数考えられる。学校ごとの開催の方が、「これから新しい学校でスタートするぞ」という気持ちなる。
- ・地域の方々には、子どもたちが仲良くなった姿や統合した新しい学校の様子を見てもらうために、式典にこだわることなく参観日等にあわせ学校を開放するという形でも良いのではないか。

### ○次回

- ・今回出た意見を第3回統合推進委員会に上げて意見を伺いたい。その後、部会を開催する。

## 第1回 PTA 部会 会議報告

日 時：平成26年10月29日（水）

午後7時～午後9時 201、202会議室

### ○次第

1 自己紹介

2 部会の役割と会議の進め方について

3 調整・検討（岡谷－田中：201 会議室）（岡谷－神明：202 会議室）

（配布資料）

・ 次第、名簿、統合推進委員会だより（1～2号）、関係3校児童数の推計

### ○話し合われた内容

#### ・ 学校統合推進委員会について

委員会だよりに沿って事務局より説明

#### ・ 会議の役割と進め方について

PTA組織経理の一元化、PTAとして学校づくりに参画できるような仕組みづくりも。

当面は月2回のペースで開催。進捗状況を見ながら調整。

目標としては、年度内に大方の調整を終えて、新年度当初の総会に諮る。

部会長＝田中小：赤羽会長、副部会長＝岡谷小：林会長、神明小：駒場会長。

岡谷小については、次回新年度の役員についても参加。

必要により専門部（専門委員会）の役員にも検討に入ってください。

以上について確認。

#### ・ 検討の内容

2グループ（岡谷－神明、岡谷－田中）にわかれ、配布済み資料をもとに調整を進めた。

2グループとも、まずは組織づくりから着手。

### ○次回

・ 11月26日（水）午後7時から 201会議室、202会議室